第10回ユニクロ日本ジュニアゴルフカップ2026/8地区対抗戦出場選手60名が決定

12月1日から3日の3日間、宮崎県宮崎市のトム・ワトソンゴルフコースで開催する「第10回ユニクロ日本ジュニアゴルフカップ2026/8地区対抗戦」の出場選手60名が決定した。

●出場選手一覧はこちら　　●大会特設ページはこちら

本大会には、各地区ゴルフ連盟から男女各3名の6名の選手が出場。男子は、昨年大会優勝の関西チームが、個人戦連覇を狙う小川琥太郎、2025年日本ジュニア男子15～17歳の部を制した道上嵩琉の昨年大会優勝メンバーと新居煌大の3名で連覇を狙う。

注目は、日本ジュニアゴルフ選手権男子15～17歳の部5位タイの吉行アムロ、同部門11位タイの中上遼真、同男子12～14歳の部を制した吉行ローリを擁する中国チーム。同世代トップクラスの実力者を揃えた中国チームが3度目の戴冠を目指す。

一方、女子も関西チームが連覇に期待がかかるが、日本ジュニア女子12～14歳の部優勝の木下陽菜子、2026年日本女子アマチュアゴルフ選手権4位タイの平山心暖、全国高等学校ゴルフ選手権で3位タイ入賞の生駒留菜でチームを編成した中部チームも第7回大会以来の優勝を虎視眈々と狙っている。

また、本大会には昨年の韓国チームに加え、チャイニーズタイペイチームの出場も決定。アジア太平洋地域のジュニアゴルフ界を牽引する両チームの優駿たちのプレーにも注目が集まる。

各日チーム3名中上位2名の合計スコアをチームスコアとし、54ホールの合計スコアが最も少ないチームが優勝となる。合わせて54ホール・ストロークプレーで個人戦も争われ、両部門優勝には、2027年の海外試合派遣が予定されている。各地区強化指定選手としてトレーニングを積み、地区代表選手として本大会の臨む選手たちの清廉なプレーに注目だ。